

特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センター

Hokkaido Research Center of Geology

2018・2019 年度年報

(2018 年 10 月 1 日～2020 年 3 月 31 日)

2019 年 10 月 18 日開催の通常総会において、事業年度を「10 月 1 日～翌年 9 月 30 日」から「4 月 1 日～翌年 3 月 31 日」に変更した。このため、2019 年度は 2019 年 10 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日までの 6 ヶ月と短くなったことから、本年報では 2018 年度と 2019 年度について収録した。

目 次

I. 北海道総合地質学研究センターについて	1
II. 活動及び事業	2
III. 会員による研究活動	6
IV. 会計決算	13
V. 無償役務, 寄付金および賛助会費受け入れなど . . .	19
VI. 後援, 助成金受入など	20



2020 年（令和 2 年）8 月 20 日発行

I. 北海道総合地質学研究センターについて

1. 目的

本法人は、地質学に関する研究・教育・実務などの高度な創造的活動を行なおうとする者のために必要な環境を用意し、その支援を行うとともに成果の普及活動を行い、それによって純粋地質学から自然防災を含む応用的地質学など幅広い範囲におよぶ「総合地質学」の研究の推進、およびそれに基づく社会的貢献、特に一般市民の地質学に関する基礎知識の増進に貢献することを目的とする。

2. 役員（2020年3月31日現在）

理事長：前田 仁一郎

副理事長：嵯峨山 積

専務理事：宮下 純夫

理事：石崎 俊一，岡 孝雄，岡村 聡，川村 信人，君波 和雄，嵯峨山 積，関根 達夫，高波 鐵夫，中川 充，前田 仁一郎，松田 義章，宮下 純夫，柳下 文夫，山岸 宏光

監事：在田 一則，加藤 孝幸

3. 会員数（2020年3月31日現在）

28 名。内訳：正会員 19 名，一般会員 7 名，院生・学生会員 1 名，賛助会員 1 名

4. 所在地・電子メール・ホームページ

〒063-0002 北海道札幌市西区山の手 2 条 3 丁目 5 番 24 号

電話 080-5830-2016

〒060-0808 北海道札幌市北区北 8 条西 3 丁目 札幌エルプラザ 2 階

市民活動サポートセンター内 事務ブース No.3

office@hrcg.jp

<http://www.hrcg.jp/>

5. 定款・設立趣旨書などの文書

定款：http://hrcg.jp/documents/Teikan_20171001.pdf

設立趣旨書：<http://hrcg.jp/documents/Shushi.pdf>

プライバシーポリシー：http://hrcg.jp/documents/privacy_161116.pdf

会員の行動と知的所有権に関する基本的な考え方：http://hrcg.jp/documents/Chiteki_161116.pdf

II. 活動及び事業

2018 年度 (2018 年 10 月 1 日～2019 年 9 月 30 日)

2019 年度 (2019 年 10 月 1 日～2020 年 3 月 31 日)

2018 (平成 30) 年

- 10 月 1 日 2017 年度事業監査を実施
- 10 月 13 日 2018 年通常総会を開催
- 10 月 19 日 携帯電話を契約
- 11 月 1 日 平成 30 年度中川町自然誌講演会実施委託事業として講師 2 名を派遣
- 11 月 12 日 札幌市に事業報告書等を提出
- 12 月 13 日 幹事会を開催

2019 (令和元) 年

- 1 月 10 日 幹事会開催
- 1 月 17 日 公開講座企画部門会議を開催
- 1 月 19 日 総合地質編集会議を開催
- 1 月 19 日 第 10 回研究セミナーを開催
- 1 月 24 日 2019/01/15 からの電子メールによる理事会表決期間を終了
- 2 月 1 日 公開講座 (第 4 回, 第 5 回) の北海道教育委員会道民カレッジ連携講座指定を申請
- 2 月 2 日 札幌市市民活動サポートセンター事務ブース利用を申請
- 2 月 7 日 公開講座 (第 4 回, 第 5 回) の北海道教育委員会道民カレッジ連携講座指定の承認
- 2 月 14 日 札幌市市民まちづくり活動促進基金 (さぼーとほっと助成金) の助成対象団体登録を申請
- 2 月 14 日 札幌市市民活動サポートセンターのレターケース使用更新を申請
- 2 月 14 日 幹事会を開催
- 2 月 15 日 札幌市市民活動サポートセンター事務ブースの利用申請に係る選考面談
- 2 月 18 日 札幌市市民まちづくり活動促進基金 (さぼーとほっと助成金) の助成対象団体登録の承認
- 2 月 21 日 さぼーとほっと助成金助成対象団体の市民まちづくり活動 PR コーナー利用に応募
- 2 月 21 日 札幌市市民活動サポートセンター事務ブースの利用の承認
- 2 月 23 日 第 3 回公開講座を開催
- 3 月 6 日 2019/02/25 からの理事会表決期間終了
- 3 月 7 日 札幌市市民まちづくり活動促進基金 (さぼーとほっと助成金) 助成を申請
- 3 月 8 日 北海道公立大学法人札幌医科大学保健医療学部特別講師の委嘱依頼を承認
- 3 月 8 日 第 11 回研究セミナーを開催
- 3 月 8 日 役員懇談会を開催
- 3 月 14 日 幹事会を開催
- 3 月 22 日 法人公式名刺作成に関する会議を開催
- 3 月 25 日 公開講座 (第 4 回, 第 5 回) の名義後援を申請 (札幌市, 札幌市教育委員会, 一般社団法人北海道地

質調査業協会、北海道高等学校理科研究会). 後日承認された

- 4月1日 札幌市市民活動サポートセンター事務ブースの利用を開始
- 4月11日 幹事会を開催
- 4月11日 広報用リーフレットの完成
- 4月15日 平成31年度法人道民税減免の申請, 平成31年度法人市民税減免を申請. 後日承認された
- 4月27日 札幌市市民まちづくり活動促進基金(さぼーとほっと助成金)助成に係る公開プレゼンテーション
に出席
- 5月9日 幹事会を開催
- 5月9日 第12回研究セミナーを開催
- 5月15日 札幌市市民まちづくり活動促進基金(さぼーとほっと助成金)交付の決定. 事業名は「札幌市とそ
の周辺の地質に関する市民向け公開講座の実施事業」
- 5月27日 公開講座企画部門会議を開催
- 5月29日 特定非営利活動法人北海道総合地質学研究センター 2017 年度年報(2019/05/20 付)を公開
- 6月8日 第4回公開講座を開催
- 6月13日 幹事会を開催
- 6月30日 第1回論文輪読会を開催
- 7月6日 第5回公開講座(その1)を開催
- 7月13日 第5回公開講座(その2)を開催
- 7月18日 幹事会を開催
- 8月2日 公開講座(第6回, 第7回, 第8回)の北海道教育委員会道民カレッジ連携講座指定を申請
- 8月3日 今後の公開講座事業に関する検討会議を開催
- 8月3日 学術雑誌「総合地質」プリント版発行検討会議を開催
- 8月8日 公開講座(第6回, 第7回, 第8回)の名義後援を申請(札幌市, 札幌市教育委員会, 一般社団法人
北海道地質調査業協会, 北海道高等学校理科研究会). 後日承認された
- 8月18日 公開講座(第6回, 第7回, 第8回)の北海道教育委員会道民カレッジ連携講座指定の承認
- 9月3日 学術雑誌「総合地質」のプリント版の ISSN 番号の発行申請および予定番号の発行受領
- 9月3日 さぼーとほっと助成金助成対象団体の市民まちづくり活動 PR コーナー利用に応募
- 9月12日 幹事会を開催
- 9月20日 2019/09/10 からの電子メールによる理事会表決期間が終了
- 9月20日 学術雑誌「総合地質」第3巻第1号(オンライン版・プリント版)を発行
- 9月24日 日本地質学会学術大会(山口大学)において小集会「人生 100 年時代のシニア地質屋の集い:NPO
法人設立の呼びかけ」を開催
- 10月10日 幹事会を開催
- 10月12日 第6回公開講座(その1)を開催
- 10月13日 監査実施(監事2名と正副理事長が出席)
- 10月18日 野外科学社内講習会に講師1名を派遣

10月20日 第13回研究セミナーを開催
 10月20日 2019年通常総会を開催
 10月20日 懇親会を開催
 10月27日 第6回公開講座（その2）を開催
 11月2日 第7回公開講座を開催
 11月10日 総合地質プリント版納本（-12/14）：国会図書館、産総研、道地質研、道立図書館、北海道博物館
 11月10日 役員公式名刺を作成
 11月14日 幹事会を開催
 11月22日 札幌市へ事業報告および役員変更届を提出
 11月22日 札幌市へ定款変更届を提出（2020/01/31 認証）
 12月7日 第8回公開講座を開催
 12月12日 幹事会を開催
 12月14日 公開講座の2020年度前期道民カレッジ連携指定申請のための作業を開始
 12月25日 入会を承認（一般会員1名）

2020（令和2）年

1月5日 公開講座決算などの報告を提出（道教委道民カレッジ事務局、札幌市、札幌市教委、地質調査業協会など）
 1月13日 札幌市さぽーとほっと 2019年度助成金請求作業を開始（2020/3/26 確定、3/30 最終書類提出、助成額 168,000 円）
 1月17日 正副理事長・監事打ち合わせを開催（札幌市さぽーとほっと 2019年度助成金における短距離交通費・役務有償化に関わること）
 1月22日 札幌市さぽーとほっと 2019年度助成金における短距離交通費・役務有償化について役員に説明
 1月24日 第14回研究セミナーを開催
 1月24日 懇親会を開催
 2月5日 札幌市さぽーとほっと 2020年度助成金説明会に参加
 2月6日 幹事会を開催（3月以降、新型コロナウイルスのために定例幹事会を開催できず）
 2月20日 札幌市事務ブース使用を申請（3/27 承認）
 2月20日 公開講座（第4・5・6・7・8回）アンケート結果まとめの作業
 2月29日 第2回論文輪読会を中止（新型コロナウイルス感染蔓延のため）
 3月2日 イオン店舗パンフ配置場所 2020 前期分利用を申込（後日、藻岩、発寒、手稲山口の3店舗の利用承認）
 3月2日 公開講座開催予定を確定（第9回：7/18・7/25、第10回：8/29、第11回：10/31、第12回：11/28）
 3月5日 札幌市さぽーとほっと 2020 年度助成金前期を申請（書類を郵送するも締切期日に間に合わず不受理）
 3月18日 南富良野町砂金採取関連の問い合わせに対応（3/31 まで）
 3月31日 イオン3店舗に公開講座開催（第9回：7/18・7/25、第10回：8/29、第11回：10/31、第12回）案内

を配置

総合地質（2巻，1号，2018年10月25日発行）

嵯峨山 積・佐藤 明・井島行夫・岡村 聡，北海道札幌市東区のボーリングコアにおける上部更新統～完新統の堆積環境と層序，1-11.

君波和雄，堆積物に物に乏しい海溝から富んだ海溝への転換：白亜紀四万十帯を例にして，12-19.

岡 孝雄，サハリン島マカロフ（知取）北方地域の上部新生界，20-58.

君波和雄，論文紹介，59-60.

総合地質（3巻，1号，2019年9月20日発行）

嵯峨山 積，完新世海面変動と珪藻分析による塩分指数の関係：沖積層ボーリングの例，1-9.

君波和雄・池田保夫，北海道－サハリンの始新世火成活動は海嶺沈み込みに起因するか？，10-30.

岡 孝雄・古沢 仁・岡村 聡・青柳大介・重野聖之，豊平川沿いの新第三系層序，藻岩山の形成史および小金湯産カイギュウ化石，31-55.

宮坂省吾，札幌の失われた川を尋ねて，56-59.

君波和雄，論文紹介，60-63.

HRCG 研究セミナー

第12回（2019年5月9日）

関根達夫，56 災害を語り継ぐ.

第13回（2019年10月20日）

高波鐵夫，2018年9月6日北海道胆振東部地震をレビューする.

第14回（2020年1月24日）

前田仁一郎，十勝岳ともうひとつの十勝岳はどのようにしてできたのか：地質と地形から生きている地球を考えてみよう.

山岸宏光，韓国 Jeju 島のジオパークを尋ねて－第12回アジア地域応用地質学会の参加報告－.

関根達夫，失われた湖を探して，竜に会う.

嵯峨山 積・井島行夫・岡村 聡・阪田義隆，JR 札幌駅北口のボーリングについて.

HRCG 論文輪読会

第1回（2019年6月30日）

高波鐵夫，Detailed seismic attenuation structure beneath Hokkaido, northern Japan: Arc-arc collision process, arc magmatism, and seismotectonics. by Kita et al., Journal of Geophysical Research: Solid Earth, 119, 6486–6511.

Ⅲ. 会員による研究活動

1) 学術論文など（査読有）

- 相澤正隆・岡村 聡・新城竜一・高橋俊郎・米山団体研究グループ, 2019, 高含水量マグマに由来する高 K 系列の米山層ソレイト系列火山岩. 岩石鉱物科学, 48, 1-24.
- Braun, A., Urquia E. G., Lopez, R.M. and Yamagishi, H., 2018, Landslide Susceptibility Mapping in Tegucigalpa, Honduras, Using Data Mining Methods. A. Shakoor and K. Cato (eds.), IAEG/AEG Annual Meeting Proceedings, San Francisco, California, 2018—Volume 1, 207-215.
- Dou, J., Yamagishi, H., Zhu Z., Yunus, P. A. and Chen, W. C., 2018, TXT-tool 1.081-6.1 A Comparative Study of the Binary Logistic Regression (BLR) and Artificial Neural Network (ANN) Models for GIS-Based Spatial Predicting Landslides at a Regional Scale, 139-151.
- Dou, J., Yunus, A. P., Merghadi, A., Shirzadi, A., Nguyen H., Hussain, Y. Avatar, R., Chen, Y. L., Pham, B. T. and Yamagishi, H., 2020, Different sampling strategies for predicting landslide susceptibilities are deemed less consequential with deep learning. Science of Total Environment . Science for the Total Environment. <https://doi.org/10.1016/j.scitotenv.2020.137320>.
- 岩崎貴哉・伊藤谷生・津村紀子・在田一則・松原 誠, 2019, 北海道中軸部の島弧：島弧衝突構造と 2018 年北海道胆振東部地震. 地震ジャーナル, 67, 1-9.
- Iwasaki, T., Tsumura, N., Ito, T., Arita, K., Matsubara, M., Sato, H., Kurashimo, E., Hirata, N., Abe, S., Noda, K., Fujiwara, A., Kikuchi, S. and Suzuki, K., 2019, Structural heterogeneity in and around the fold-and-thrust belt of the Hidaka Collision Zone, Hokkaido, Japan and its relationship to the aftershock activity of the 2018 Hokkaido Eastern Iburi Earthquake. Earth Planets Space, 71, 103 (<https://doi.org/10.1186/s40623-019-1081-z>).
- 加藤孝幸・飯田友章・米島真由子・斉藤晃生, 2019, 北海道における石材産地推定の試みから見える石質の価値観—黒曜石と珪質頁岩, 蛇紋岩質土器および蛇紋岩関連玉類. 地球科学, 73, 93-102.
- 君波和雄, 2018, 堆積物に乏しい海溝から富んだ海溝への転換：白亜紀四万十帯を例にして. 総合地質, 2, 12-19.
- 君波和雄・池田保夫, 2019, 北海道—サハリンの始新世火成活動は海嶺沈み込みに起因するか？. 総合地質, 3, 10-30.
- Li, H., Xu, Y., Zhou J., Wang, X., Yamagishi, H. and Dou, J., 2020, Preliminary analyses of a catastrophic landslide occurred on July 23, 2019, in Guizhou. Landslide. DOI 10.1007/s10346-019-01334-0
- 宮坂省吾, 2019, 札幌の失われた川を尋ねて. 総合地質, 3, 56-59.
- 中西 諒・岡村 聡, 2019, 1640 年北海道駒ヶ岳噴火による津波堆積物の分布と津波規模の推定. 地質学雑誌, 125, 835-851.
- 岡 孝雄, 2018, サハリン島マカロフ（知取）北方地域の上部新生界. 総合地質, 2, 20-58.
- 岡 孝雄・古沢 仁・岡村 聡・青柳大介・重野聖之, 豊平川沿いの新第三系層序, 藻岩山の形成史および小金湯産カイギュウ化石. 総合地質, 3, 31-55.

嵯峨山 積, 2018, 汽水湖の塩分濃度と湖底堆積物の珪藻遺骸群集から求めた塩分指数の関係. *Diatom* (日本珪藻学会誌), 34, 1-7.

嵯峨山 積, 2019, 完新世海面変動と珪藻分析による塩分指数の関係: 沖積層ボーリングの例. 総合地質, 3, 1-9.

嵯峨山 積・佐藤 明・井島行夫・岡村 聡, 2018, 北海道札幌市東区のボーリングコアにおける上部更新統～完新統の堆積環境と層序, 総合地質, 2, 1-11.

関根達夫, 2018, 泊原発の地質の問題点について. 地学団体研究会, 地学教育と科学運動, 81, 47-50.

山岸宏光・畑本雅彦・鎌田光也・志村一夫, 2019, 景観としての水中火山岩・室蘭市絵鞆半島の外海岸急崖の産状. 地学雑誌, 128, 941-952.

Yamagishi, H. and Yamazaki, F., 2018, Landslides by the 2018 Hokkaido Iburi-Tobu Earthquake on September 6, Volume 15, Landslide, Issue 12, 2521-2524.

Yoshida, M., Arita, K., Sakai, T. and Upreti, B. N., 2019, Japan-Nepal Joint Student Himalayan Exercise Program 7 Years. *Universal Journal of Geoscience*, 7, 1, 15-30. (DOI:10.13189/ujg.2019.070102.)

2) 学術論文など (査読無)

相澤正隆・新城竜一・岡村 聡・米山団体研究グループ, 2019, 新潟県柏崎市鯨波海岸に産する角閃石巨晶の地球化学的検討. 柏崎市立博物館, 33, 73-92.

在田一則・岩崎貴哉・津村紀子, 2019, 北海道地殻構造トランセクトの構築. 地学雑誌, 128, 6, N68.

星野フサ・岡 孝雄・中村俊夫・赤松周平・近藤 務・米道 博・関根達夫・山崎芳樹・若松幹男, 2019, 札幌市手稲区前田の上部更新統～完新統の AMS¹⁴C 年代測定と花粉分析. 名古屋大学年代測定研究, 3, 31-40.

岡 孝雄・石狩沖積低地研究会, 2019, 北海道厚真川流域の第四紀研究と 2018 年胆振東部地震について. 名古屋大学年代測定研究, 3, 11-22.

岡 孝雄・星野フサ・中村俊夫・赤松周平・近藤 務・米道 博・関根達夫・山崎芳樹・若松幹男, 2019, 北海道岩内平野の沖積層とその下位層の AMS¹⁴C 年代測定および花粉分析. 名古屋大学年代測定研究, 3, 23-30.

岡 孝雄・古澤 明, 余市町八幡山遺跡腐植土層中の火山灰の分析と同定. 余市町教育委員会, 一般国道 5 号 俱知安余市道路 (共和-余市) 工事施工に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書, 142-150.

高波鐵夫, 2018, 2018 年 4 月 4 日根室半島沖で発生した正断層地震 M5.4. 地下からのサイン測ろう会会報, 4, 55.

高波鐵夫, 2018, 平成 30 年北海道胆振地震 M6.7 について. 地下からのサイン測ろう会会報, 4, 57.

高波鐵夫, 2019, 平成 30 年 11 月 5 日国後島沖地震 M6.7 について. 地下からのサイン測ろう会会報, 5, 45.

高波鐵夫, 2019, 最近の北海道北部における地震活動(1). 地下からのサイン測ろう会会報, 5, 46.

高波鐵夫, 2019, 最近の北海道北部における地震活動(2). 地下からのサイン測ろう会会報, 5, 47.

高波鐵夫, 2019, 最近の北海道北部における地震活動(3). 地下からのサイン測ろう会会報, 5, 48.

高波鐵夫, 2019, 最近の北海道北部における地震活動(4). 地下からのサイン測ろう会会報, 5, 49.

3) 学術書籍, 一般書籍・雑誌など

Yamagishi, H. and Bahndary, N. P., 2017, GIS Landslides. Springer Nature, 230p.

山岸宏光・志村一夫編著, 2019, マスムーブメントのデジタル空間解析. 北大出版会, 176p.

4) 学術講演・学会発表(口頭・ポスター) など

Aizawa, M., Inaba, M., Okamura, S. and Shinjo, R., 2019, Geological and geochemical study of Tomari volcanic rocks, northern NE Japan arc: Comparison with Oligocene - Miocene volcanic rocks from SW Hokkaido. 2019 Taiwan Geosciences Assembly (Taipei).

相澤正隆・稲葉 充・岡村 聡・新城竜一, 2019, 下北半島, 中新世泊層火山岩類の岩石化学—微量元素組成およびSr-Nd-Hf-Pb同位体組成—. 日本地球惑星科学連合2019年大会 (千葉).

Aizawa, M., Shinjo, R., Okamura, S., Takahashi, T., and Fujivayashi, N., 2018, Petrology of volcanic rocks from Yoneyama Formation in Northern Fossa Magna, central Japan: REE and Sr-Nd-Hf isotope constraints on the magma process. AGU Fall Meeting (Washington DC).

Aizawa, M., Shinjo, R., Okamura, S., Takahashi, T. and Fujibayashi, N., 2019, Deep crustal magma differentiation of Late Cenozoic volcanic rocks beneath Northern Fossa Magna, central Japan. Goldschmidt 2019 (Barcelona) .

在田一則・豊島剛志・伊藤谷生, 2018, 北海道地殻構造解明研究の前進と地球科学の新たな課題. 日本地質学会つくば特別大会 (つくば).

Iwasaki, T., Tsumura, N., Ito, T., Arita, K., Matsubara, M., Sato, H., Kurashimo, E., Hirata, N., Abe, S., Noda, K., Fujiwara, A., Kikuchi, S. and Suzuki, K., 2019, Structural Heterogeneity in and around the Source Region of the 2018 Hokkaido Eastern Iburi Earthquake, Central Hokkaido, Japan. 日本地球惑星科学連合 2019 年大会 (千葉).

Iwasaki, T., Tsumura, N., Ito, T., Arita, K., and Sato, H., 2019, Structural complexity associated with Arc-Arc collision in Hokkaido Island, Japan - Review on controlled-source seismic researches in Western and Central Hokkaido. 日本地球惑星科学連合 2019 年大会 (千葉).

加藤孝幸・布川昭一・東海林博・高橋輝一郎・米島真由子・菅原誠・伊藤慎一郎・土井良太, 2018, 地熱調査における伏在断層検出ツールとしての表面波探査. 日本地熱学会平成30年学術講演会講演要旨集 (東京), 160.

前田仁一郎・石川曉登, 2019, 北海道, 日高変成帯の千呂露変成苦鉄質岩脈に観察されるグラニュライト化作用. 日本地質学会北海道支部令和元年度例会講演要旨集 (札幌), 13-14.

- 村井芳夫・勝俣 啓・高波鐵夫・渡邊智毅・山科匡史・長 郁夫・田中昌之・東 龍介, 2019, 海陸地震観測から得られた北海道南部一島弧衝突帯から太平洋プレート沈み込み帯前弧域の地震は速度構造. 日本地球惑星科学連合 2019 年大会 (千葉).
- 中西 諒・岡村 聡・嵯峨山 積・横山祐典・宮入陽介, 2019, 北海道太平洋沿岸日高南部における海水準変動の影響を受けた津波・洪水履歴. 日本地球惑星科学連合 2019 年大会 (千葉).
- 中西 諒・岡村 聡・芦 寿一郎, 2019, 非イベント堆積物の鉱物・化学組成分析を用いたイベント堆積物の識別. 日本地質学会第 126 年学術大会講演要旨 (山口), 235.
- 中西 諒・嵯峨山 積・横山祐典・宮入陽介・芦 寿一郎, 2019, 珪藻遺骸群集から明らかにする北海道日高地域沿岸における相対的海水準とイベント層形成の関係. 日本珪藻学会第 39 回研究集会 (東京),
- 岡 孝雄, 2018, 2018 年北海道胆振東部地震に係わる斜面崩壊と活断層帯の地質学的意義. 日本活断層学会 2018 年度秋季学術大会講演予稿集 (鳥取), O-6.
- 岡 孝雄, 2018, 2018 年北海道胆振東部地震で多発した崩壊・地すべり. 日本活断層学会 2018 年度秋季学術大会講演予稿集 (鳥取), P-20.
- 岡 孝雄, 2019, 2018 年北海道胆振東部地震のような深い内陸地震の過去における発生についての考察. 日本活断層学会 2019 年度秋季学術大会講演予稿集 (東京), O-3.
- 岡 孝雄, 2019, 2018 年北海道胆振東部地震の地盤変動による地域区分. 日本活断層学会 2019 年度秋季学術大会講演予稿集 (東京), P-3.
- 岡 孝雄, 2019, 2018 年胆振東部地震に関わる第四紀学的諸問題: 地形面区分, 崩壊した斜面堆積物の地域差および活構造など. 令和元年度日本応用地質学会北海道支部・北海道応用地質研究会研究発表会講演要旨集 (札幌).
- 岡村 聡, 2019, 神居古潭帯の緑泥石岩-美利河 1 遺跡出土の玉類との関連で-. 北海道旧石器文化研究会 (札幌).
- 岡村 聡・相澤正隆, 2019, サハリン南部モネロン島の白亜紀火山岩の岩石学的性質. 日本地質学会第 126 年学術大会講演要旨 (山口), 57.
- Okamura, S., Tomioka, A., Katoh, T., Tatsuda, S., Azuma, T. and Sakai, T., 2018, Chloritized rocks associated with serpentinite from the Kamuikotan Tectonic Belt, North Japan; implications for source and manufacturing of the beads and stone tools from the Paleolithic - Jomon period. AGU Fall Meeting (Washington DC).
- 嵯峨山 積・近藤玲介・宮入陽介・横山祐典, 2019, 三重県伊勢市の沖積層ボーリングコアの珪藻分析. 日本地質学会北海道支部令和元年度例会講演要旨集 (札幌), 2-3.
- 佐藤比呂志・岩崎貴哉・石山達也・加藤直子・小平秀一・佐藤 壮・野 徹雄・伊藤谷生・在田一則・阿部 進・横井 悟・菊池伸輔・東中基倫, 2018, 北海道トランセクト: 千島弧前弧・日高衝突帯・日本海盆. 日本地質学会つくば特別大会 (つくば).
- 高波鐵夫, 2019, 北海道北部における最近の地震活動. 日本地球惑星科学連合 2019 年大会 (千葉).
- Yoshida, M., Arita, K., Sakai, T., Paudel, M. R. and Upreti, B. N., 2018, Traversing the Himalayan

Orogen - Report of the 7th Student Himalayan Exercise Tour in March 2018. Poster presentation at 15th International Symposium on Gondwana to Asia, 2018 Annual Convention of IAGR, Xian, China.

5) 一般講演

前田仁一郎, 2019, 日高山脈で地球の中で起きていることを見る. 第20回大雪山フォーラム (大雪と石狩の自然を守る会主催), 旭川市大雪クリスタルホール, 2019年3月30日.

前田仁一郎, 2019, 地学のすすめ: 地球を知り, 地球とつき合い, 地球を楽しむことによって自然災害から身を守る. いわみざわ市民大学 (いわみざわ市民大学実行委員会・岩見沢市教育委員会), 岩見沢市生涯学習センター いわなび, 2019年7月31日.

前田仁一郎, 十勝岳ともうひとつの十勝岳はどのようにしてできたのか: 地質と地形から生きている地球を考えてみよう. 大雪山国立公園パークボランティア冬期研修会, 上富良野町保健福祉総合センター かみん, 2020年2月3日.

宮坂省吾, 2019, 豊平川の洪水を考えるーその 1 洪水の歴史. HRCG 第 6 回公開講座 (札幌), 2019 年 10 月 12 日.

宮坂省吾, 2019, 豊平川の洪水を考えるーその 2 最近百年間の洪水痕跡を訪ねる. HRCG 第 6 回公開講座 (札幌), 2019 年 10 月 27 日.

宮下純夫, 2019, 海と陸の本当の違いー砂漠のオマーンで見る海底下 40 km の岩石の世界ー. HRCG 第 3 回公開講座 (札幌), 2019 年 2 月 23 日.

宮下純夫, 2019, 変動する地球: 気候変動ー地質学的視点から気候変動・地球温暖化を考える. HRCG 第 8 回公開講座 (札幌), 2019 年 12 月 7 日.

岡 孝雄, 2018, 道北の地形・地質ー天塩中川-間寒別盆地の成り立ちー. 平成 30 年度中川町自然誌講演会 (中川), 2018 年 11 月 1 日.

岡 孝雄, 2019, 胆振東部地震はどのように生じたかー地形・地質条件と地盤災害の全容ー. 日本科学者会議北海道支部 2019 年度学術シンポジウム第 2 部市民公開シンポジウム (札幌). 2019 年 11 月 3 日.

岡村 聡, 2019, 現場技術者の基礎知識ーコンクリート構造物の劣化現象と留意点ー. 現場技術者継続学習講習会 (函館), 2019 年 3 月 6 日.

嵯峨山 積, 2019, 小さな化石 (珪藻) から石狩平野の生い立ちを知るー縄文海進の世界ーその 1, その 2. 北海道総合地質学研究センター主催 第 5 回公開講座 (札幌), 2019 年 7 月 6・13 日.

嵯峨山 積・井島行夫・岡村 聡・阪田義隆, JR 札幌駅北口のボーリングについて. HRCG 第 14 回研究セミナー (札幌), 2020 年 1 月 24 日.

関根達夫, 2018, 胆振東部地震現地調査報告. 最終間氷期勉強会 (札幌), 2018 年 10 月.

関根達夫, 2018, 56 災害を語り継ぐ. 最終間氷期勉強会 (札幌), 2018 年 12 月.

関根達夫, 2019, 胆振東部地震現地調査への QGIS 活用事例: 失われた湖を探して竜を見た. 最終間氷期勉強会 (札幌), 2019 年 4 月 20 日.

関根達夫, 2019, 56 災害を語り継ぐ 2019. 自主藤野地区社会福祉協議会「平成 30 年度地域福祉活動情報交

- 換会」(札幌), 2019 年 4 月 22 日.
- 関根達夫, 2019, 56 災害を語り継ぐ. HRCG 第 12 回研究セミナー (札幌), 2019 年 5 月 9 日.
- 関根達夫, 2019, 多視点カメラによる厚真斜面崩壊の 3D 化. 最終間氷期勉強会 (札幌), 2019 年 6 月 29 日.
- 関根達夫, 2019, 古俱知安湖はあったのか. 最終間氷期勉強会 (札幌), 2019 年 10 月 19 日.
- 関根達夫, 2019, 昭和 56 年洪水災害とハザードマップの活用. HRCG 第 7 回公開講座 (札幌), 2019 年 11 月 2 日.
- 関根達夫, 2020, 失われた湖を探して, 竜に会う. HRCG 第 14 回研究セミナー (札幌), 2020 年 1 月 24 日.
- 関根達夫・岡村 聡, 2019, 4 万年前、札幌を埋め尽くした支笏火砕流. HRCG 第 4 回公開講座 (札幌), 2019 年 6 月 8 日.
- 高波鐵夫, 2018, 道北の地震と巨大地震科学. 平成 30 年度中川町自然誌講演会 (中川), 2018 年 11 月 1 日.
- 高波鐵夫, 2019, 2018 年北海道胆振東部地震と海溝地震との関係を探る, 信州大学教育学部第 32 回同窓会記念講演会 (長野), 2019 年 8 月 11 日.
- 高波鐵夫, 2019, 北海道胆振東部地震をレビューする. HRCG 第 13 回研究セミナー (札幌), 2019 年 10 月 20 日.
- 高波鐵夫, 2019, 地震学概論. 信州大学コア・サイエンス・ティーチャー養成プロジェクト (長野), 2019 年 12 月 21・22 日.
- 山岸宏光, 2018, 室蘭は火山だった! 一地質学が紐解く名勝ピリカノカの美一室蘭絵鞆半島の水中山火. むろらん 100 年建造物保存活用会, 連続講演会・第 10 弾 (室蘭), 2018 年 10 月 27 日.
- 山岸宏光・岩橋純子, 2019, 2018 年 9 月 6 日北海道胆振東部地震による斜面災害-GIS 解析で何が解明されたか. 応用地質学会研究発表会 (長岡), 2019 年 10 月 25 日.
- 山岸宏光・志村一夫, 2019, 書籍「マスマーブメントのデジタル空間解析」(北大出版会) の紹介とくに有珠山と十勝岳について. 火山勉強会 (洞爺湖), 2019 年 10 月 27 日.
- 山岸宏光, 2019, 室蘭市絵鞆半島外海岸の水中山火の景観. 火山勉強会 (洞爺湖), 2019 年 10 月 27 日.
- Yamagishi, H. and Iwahashi, J., 2019, Landslides triggered by the September 6th 2018 Hokkaido Eastern Iburi Earthquake -Topographic and Geologic GIS Analyses-. The 12th Asia Regional Conference, Jeju, Korea September 25th.
- 山岸宏光・Dou Jie, 2020, 2018 年 9 月 6 日北海道胆振東部地震による斜面災害の空中写真判読と GIS 解析. 第 10 回 GIS-Landslide 研究集会 (10th GML) および第 6 回高精細地形情報シンポジウム (6th HDTS) (札幌), 2019 年 3 月 6 日
- 山岸宏光, 韓国 Jeju 島のジオパークを尋ねてー第 12 回アジア地域応用地質学会の参加報告ー. HRCG 第 14 回研究セミナー (札幌), 2020 年 1 月 24 日.
- Yamagishi, H., 2020, GIS and LANDSLIDE and Case Study. Saritribai Phule Pune University, March 4, 2020.
- Yamagishi, H., 2020, Pillow lava and hyaloclastite. Saritribai Phule Pune University, March 5, 2020.

6) 巡検・見学会リーダーなど

宮坂省吾, 2019, 豊平川の洪水を考えるーその 2 最近百年間の洪水痕跡を訪ねる. HRCG 第 6 回公開講座 (札幌), 2019 年 10 月 27 日.

中西 諒・岡村 聡・横田彰宏・重野聖之, 2019, 苫小牧-むかわ地域における 17 世紀津波堆積物と有史時代のテフラ. 2019 年度地学団体研究会北海道支部巡検, 2019 年 10 月 19 日.

岡 孝雄, 2018, 胆振東部地震とその土砂災害の地形・地質学的要因についてー厚真川流域第四紀研究 (2012 ~2018) の成果から考えるー. 胆振東部地震に関する緊急報告会 (第 139 回最終間氷期勉強会).

岡 孝雄, 2018, 然別川で発見された「化石林」とその保存について. おとふけ文化祭/音更郷土史学習講演会主催 (音更町文化協会・音更郷土史研究会). 2018 年 11 月 3 日.

岡 孝雄, 2019, 北海道の自然と環境ー北海道の風土 (地形・地質、気候、景観……)ー. 札幌医科大学講義 (シリーズ北海道の生活と健康), 2019 年 6 月 19 日.

岡 孝雄・関根達夫・乾 哲也, 2019, H30 年胆振東部地震による崩壊・地すべりなど厚真川中流域見学会. 第 144 回北海道最終間氷期勉強会 (案内者), 2019 年 8 月 25 日.

岡 孝雄, 2019, 胆振東部地震はどのように生じたかー地形・地質条件と地盤災害の全容ー. 北海道大学博物館第 35 回ボランティア談話会, 2019 年 11 月 8 日.

岡村 聡・内山幸二・宮坂省吾・在田一則・矢部和夫, 2019, 街中ジオ散歩ー三角山採石跡地. 北海道自然保護協会, 2019 年 9 月 28 日.

山岸宏光・関根達夫, 2018, 藻南公園地質見学会, 講師・現地案内. 水中火山岩研究会, 2018 年 10 月 18 日.

山岸宏光, 2019, 室蘭絵鞆半島外海岸クルージング. アイヌ語と地質, 地質案内, 道庁胆振振興局, 2019 年 8 月 7 日.

山岸宏光, 2019, 室蘭絵鞆半島外海岸クルージング. アイヌ語地質, 地質案内, 道庁胆振振興局, 2019 年 9 月 18 日.

山岸宏光, 2019, 室蘭絵鞆半島外海岸クルージング. 国土交通省, 白鳥大橋周辺の観光資源検討会, 絵鞆半島の地形と地質担当, 2019 年 11 月 16 日.

IV. 会計決算

2019 年 9 月 末 (2018 年度)

特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センター
2018年度決算

2018年10月1日～2019年9月30日 (単位:円)

収入					
I. 経常収益					
科目	予算	決算	差額	備考	
1. 受取会費					
正会員受取会費	108,000	114,000	△ 6,000	6,000円×19名	
一般会員受取会費	20,000	27,500	△ 7,500	5,000円×5名, 2,500円×1名	
賛助会員受取会費	10,000	10,000	0	10,000円×1名	
院生・学生会員受取会費	1,000	1,000	0	1,000円×1名	
受取会費合計	139,000	152,500	△ 13,500		
2. 受取寄付金					
受取寄付金	46,500	108,900	△ 62,400	内訳別紙	
無償役務受入評価益	0	1,524,892	△ 1,524,892		
無償施設・機器等受入評価益	0	36,216	△ 36,216	内訳別紙 (PC・プリンタ類一式、マイク類一式)	
受取寄付金合計	46,500	1,670,008	△ 1,623,508		
3. 受取助成金等					
受取助成金	0	0	0		
受取補助金	0	0	0		
受取助成金等合計	0	0	0		
4. 事業収益					
「総合地質」出版事業	0	1,500	△ 1,500	総合地質 第3巻第1号 1冊頒布	
研究セミナー開催事業	0	0	0		
公開講座開催事業	240,000	132,900	107,100	参加費および配付資料頒布 (内訳別紙)	
アウトリーチ事業	0	150,580	△ 150,580	中川町「平成30年度中川町自然誌講演会」実施委託事業	
事業収益合計	240,000	284,980	△ 44,980		
5. その他収益					
受取利息	5	4	1	預金利息	
雑収益	0	5,105	△ 5,105	書籍頒布 (3,000円), 懇親会ポイント還元 (1,100円), 懇親会残金 (800円), 郵送代実費受取 (205円)	
その他収益合計	5	5,109	△ 5,104		
経常収益合計	425,505	2,112,597	△ 1,687,092		
支出					

II. 経常費用		科目	予算	決算	差額	備考
1. 事業費						
(1) 人件費						
	給与	0	0	0	0	計上せず = 職員を雇用せず
	謝金	80,000	80,000	0	80,000	講義準備・資料作製準備必要経費に移行
	無償役務等評価費用	0	0	204,757	△ 204,757	
	人件費合計	80,000	80,000	204,757	△ 124,757	
(2) その他経費						
	講義準備・資料作製準備必要経費	0	0	118,000	△ 118,000	中川町実施委託事業講演会、第3～5回公開講座
	会場費	47,200	47,200	21,600	25,600	第4～8回公開講座 (5回分)
	旅費・交通費	20,000	20,000	54,480	△ 34,480	中川町実施委託事業講師旅費及び宿泊費 (2名)
	広報・宣伝費	20,000	20,000	0	20,000	
	通信費	1,500	1,500	29,530	△ 28,030	第3～5回公開講座チラシ郵送代 (札幌圏高等学校等)
	印刷・製本費	35,000	35,000	65,240	△ 30,240	27,080円 (第3～8回公開講座チラシ印刷), 5,760円 (公開講座配付資料印刷), 総合地質 (第3巻第1号) 印刷・製本 (32,400円)
	事務用品費	1,000	1,000	0	1,000	
	消耗品費	10,000	10,000	0	10,000	
	支払等手数料	1,000	1,000	864	136	216円×4回 (チラシ印刷送金代)
	事業経費	20,000	20,000	1,750	18,250	傷害保険 (第4回公開講座, 35名×50円)
	事業予備費	36,805	36,805	0	36,805	
	無償施設・機器等受入評価費用	0	0	0	0	
	その他経費合計	192,505	192,505	291,464	△ 98,959	
事業費合計		272,505	272,505	496,221	△ 223,716	
2. 管理費						
(1) 人件費						
	役員報酬	0	0	0	0	計上せず
	給与	0	0	0	0	計上せず = 職員を雇用せず
	謝金	50,000	50,000	0	50,000	事務作業補助, 会計作業補助, ホーム頁更新作業補助など
	無償役務評価費用	0	0	1,320,135	△ 1,320,135	
	人件費合計	50,000	50,000	1,320,135	△ 1,270,135	
(2) その他経費						
	会議・会場費	10,000	10,000	15,720	△ 5,720	総会 (4,140円), 研究セミナー (3回分: 2,000円, 3,540円, 4,140円), 幹事会 (1回分: 1,900円)
	旅費・交通費	20,000	20,000	28,520	△ 8,520	福岡-新千歳往復 (総合地質編集会議)
	広報・宣伝費	20,000	20,000	0	20,000	
	通信費	20,000	20,000	43,036	△ 23,036	サーバーレンタル (12,960円), ドメイン管理 (3,067), 携帯電話購入 (6,000円), 電話代 (18,274円), 切手 (2,735円)

印刷・製本費	10,000	17,200	△ 7,200	リーフレット印刷 (17,200円)
事務用品費	10,000	89,131	△ 79,131	用紙、封筒、プリンタ用インク、ラベルシート、領収書、クリアファイル、名刺用紙、文員類など
消耗品費	10,000	7,880	2,120	カート (3,260円)、収納箱 (2,818円)、L型フック (992円)、雑巾・バケツ (378円) など
支払等手数料	1,000	216	784	リーフレット印刷費送金代
管理雑経費	1,000	60	940	総会会場電気代 (ちえりあ)
管理予備費	10,000	71,300	△ 61,300	エルプラザブース使用料 (4月～10月分：10,000円/月、前月払い)、会員活動支援費 (第4回～第5回公開講座参加者、100円×13名)
無償施設・機器等受入評価費用	0	36,216	△ 36,216	内訳別紙 (PC・プリンタ類一式、マイク類一式)
その他経費合計	112,000	309,279	△ 197,279	
管理費合計	162,000	1,629,414	△ 1,467,414	
経常費用合計	434,505	2,125,635	△ 1,691,130	事業費合計 + 管理費合計

科目	予算	決算	差額	備考
当期経常増減額	△ 9,000	△ 13,038	△ 22,038	経常収益合計 - 経常費用合計

III. 経常外収益				
科目	予算	決算	差額	備考
経常外収益	0	0	0	
経常外収益合計	0	0	0	

IV. 経常外費用				
科目	予算	決算	差額	備考
経常外費用	0	0	0	
経常外費用合計	0	0	0	

科目	予算	決算	差額	備考
当期経常外増減額	0	0	0	

科目	予算	決算	差額	備考
税引前当期正味財産増減額	△ 9,000	△ 13,038	4,038	税引前当期正味財産増減額 = 当期経常増減額 + 当期経常外増減額
法人税	0	0	0	
法人道民税均等割	0	0	0	20,000円、免除申請予定のため計上せず
法人市民税均等割	0	0	0	50,000円、免除申請予定のため計上せず
前期繰越正味財産額	479,923	479,923	0	
次期繰越正味財産額	464,797	466,885	△ 2,088	次期繰越正味財産額 = 前期繰越正味財産額 479,923円 + 当期財産正味増減額 △ 13,038円 = 466,885円

特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センター
2019年度決算

2019年10月1日～2020年3月31日 (単位: 円)

収入					
I. 経常収益	科目	予算	決算	差額	備考
1. 受取会費					
	正会員受取会費	57,000	51,000	6,000	3,000円×17名 (未納者 2名)
	一般会員受取会費	15,000	17,500	△ 2,500	2,500円×7名
	賛助会員受取会費	5,000	5,000	0	5,000円×1名
	院生・学生会員受取会費	500	1,500	△ 1,000	500円×1名 (2020年度分を含む)
	受取会費合計	77,500	75,000	2,500	
2. 受取寄付金					
	受取寄付金	20,000	52,384	△ 32,384	内訳別紙
	無償役務受入評価益	0	1,201,292	△ 1,201,292	内訳別紙 (管理費区分相当 852,390円, 事業費区分相当 348,902円)
	無償施設・機器等受入評価益	0	1,800	△ 1,800	内訳別紙
	受取寄付金合計	20,000	1,255,476	△ 1,235,476	
3. 受取助成金等					
	受取助成金	168,000	0	168,000	札幌市市民まちづくり活動促進助成金, 2020年度の入金となった
	受取補助金	0	0	0	
	受取助成金等合計	168,000	0	168,000	
4. 事業収益					
	総合地質出版事業	12,000	10,500	1,500	総合地質7冊頒布
	研究セミナー開催事業	0	0	0	
	公開講座実施事業	138,000	127,500	10,500	第6回～第8回参加費 + 資料頒布 (500円), 内訳別紙
	アウトリーチ事業	0	20,000	△ 20,000	野外科学株式会社社内講習会へ講師派遣
	事業収益合計	150,000	158,000	△ 8,000	
5. その他収益					
	受取利息	2	2	0	預金利息
	雑収益	0	0	0	
	その他収益合計	2	2	0	
経常収益合計		415,502	1,488,478	△ 1,072,976	

支出					
II. 経常費用	科目	予算	決算	差額	備考

消耗品費	10,000	618	9,382	単四電池代
支払手数料	500	0	500	
管理経費	1,000	△ 11,400	12,400	懇親会不足分 (600円, 2019/10/20総会時) 補填, 事業費区分の「印刷・製本費」より「法人内流通」として受入 (12,000 円)
管理予備費	5,000	0	5,000	
無償施設・機器等受入評価費用	0	1,800	△ 1,800	事務作業環境提供, 内訳別紙
その他経費合計	187,500	105,765	81,735	
管理費合計	192,500	958,155	△ 765,655	
経常費用合計	358,950	1,705,375	△ 1,346,425	事業費合計+管理費合計
科目	予算	決算	差額	備考
当期経常増減額	56,552	△ 216,897	273,449	経常収益合計-経常費用合計
III. 経常外収益				
科目	予算	決算	差額	備考
経常外収益	0	0	0	
経常外収益合計	0	0	0	
IV. 経常外費用				
科目	予算	決算	差額	備考
経常外費用	0	0	0	
経常外費用合計	0	0	0	
科目	予算	決算	差額	備考
当期経常外増減額	0	0	0	
税引前当期正味財産増減額				
法人税	56,552	△ 216,897	273,449	
法人道民税均等割	0	0	0	免除予定
法人市民税均等割	0	0	0	20,000円, 免除予定
前期繰越正味財産額	466,885	466,885	0	50,000円, 免除予定
次期繰越正味財産額	523,437	249,988	273,449	前期繰越正味財産額 466,885円 + 当期財産正味増減額 △216,897円 = 249,988円

V. 無償役務，寄付金および賛助会費受け入れなど

2018 年度

無償役務受入 (管理費区分)		寄付金受入	
提供者	金額 (円)	提供者	金額 (円)
川村信人	13,360	川村信人	10,000
前田仁一郎	860,050	前田仁一郎	8,900
宮下純夫	23,380	松田義章	100
岡村 聡	21,710	宮下純夫	3,000
嵯峨山 積	338,175	中川 充	3,200
関根達夫	20,040	岡 孝雄	54,000
高波鐵夫	20,040	嵯峨山 積	10,100
柳下文夫	23,380	高波鐵夫	10,000
柳下文夫 (機器提供)	36,216	山岸宏光	9,600
計	1,356,351	計	108,900

無償役務受入 (事業費区分)		無償役務受入および受取寄付金受入 合計	
提供者	金額 (円)		
君波和雄	28,808		1,670,008
前田仁一郎	46,813		
松田義章	2,505		
宮下純夫	24,935		
森藤 勉	5,010		
岡村 聡	31,088		
関根達夫	32,038		
高波鐵夫	8,750		
柳下文夫	24,810		
計	204,757		

無償役務受入 合計		賛助会費収入	
	金額 (円)	賛助会員氏名	会費 (円)
	1,561,108	吉岡正俊	10,000
		計	10,000

2019 年度

無償役務受入 (管理費区分)		寄付金受入	
提供者	金額 (円)	提供者	金額 (円)
在田一則	8,610	在田一則	1,447
加藤孝幸	8,610	前田仁一郎	9,000
前田仁一郎	431,700	松田義章	1,000
宮下純夫	86,100	宮坂省吾	4,800
岡村 聡	25,830	宮下純夫	4,500
嵯峨山 積	215,850	森藤 勉	1,837
関根達夫	25,830	岡村 聡	5,200
高波鐵夫	25,830	嵯峨山 積	10,000
柳下文夫	25,830	関根達夫	3,600
計	854,190	高波鐵夫	2,000
		山岸宏光	9,000
		計	52,384

無償役務受入 (事業費区分)		無償役務受入および受取寄付金受入 合計	
提供者	金額 (円)		
在田一則	2,497		1,255,476
前田仁一郎	85,368		
松田義章	2,459		
宮坂省吾	24,967		
宮下純夫	28,562		
森藤 勉	3,026		
中川 充	3,121		
岡村 聡	20,127		
嵯峨山 積	95,715		
関根達夫	45,493		
高波鐵夫	16,116		
柳下文夫	21,451		
計	348,902		

無償役務受入 合計		賛助会費収入	
	金額 (円)	賛助会員氏名	会費 (円)
	1,203,092	吉岡正俊	10,000
		計	10,000

特定非営利活動法人北海道総合地質学研究センターは以上の皆さまの貢献に感謝申し上げます。

VI. 後援, 助成金受入など

1) 後援など

北海道教育委員会「道民カレッジ連携講座」指定

北海道総合地質学研究センター第3回公開講座「海と陸の本当の違いー砂漠のオマーンで見る海底下40kmの岩石の世界ー」, 2019年2月23日.

北海道総合地質学研究センター第4回公開講座「4万年前, 札幌を埋め尽くした支笏火砕流」, 2019年6月8日.

北海道総合地質学研究センター第5回公開講座「小さな化石(珪藻)から石狩平野の生い立ちを知るー縄文海進の世界ー」, その1: 2019年7月6日, その2: 2019年7月13日.

北海道総合地質学研究センター第6回公開講座「豊平川の洪水を考える」. 「その1 洪水の歴史」: 2019年10月12日. 「その2 最近百年間の洪水痕跡を訪ねる」: 2019年10月27日.

北海道総合地質学研究センター第7回公開講座「昭和56年洪水災害とハザードマップの活用」, 2019年11月2日.

北海道総合地質学研究センター第8回公開講座「変動する地球: 気候変動ー地質学的視点から気候変動・地球温暖化を考える」2019年12月7日.

一般社団法人北海道地質調査業協会 後援

北海道総合地質学研究センター第3回公開講座「海と陸の本当の違いー砂漠のオマーンで見る海底下40kmの岩石の世界ー」, 2019年2月23日.

北海道総合地質学研究センター第4回公開講座「4万年前, 札幌を埋め尽くした支笏火砕流」, 2019年6月8日.

北海道総合地質学研究センター第5回公開講座「小さな化石(珪藻)から石狩平野の生い立ちを知るー縄文海進の世界ー」, その1: 2019年7月6日, その2: 2019年7月13日.

北海道総合地質学研究センター第6回公開講座「豊平川の洪水を考える」. 「その1 洪水の歴史」: 2019年10月12日. 「その2 最近百年間の洪水痕跡を訪ねる」: 2019年10月27日.

北海道総合地質学研究センター第7回公開講座「昭和56年洪水災害とハザードマップの活用」, 2019年11月2日.

北海道総合地質学研究センター第8回公開講座「変動する地球: 気候変動ー地質学的視点から気候変動・地球温暖化を考える」2019年12月7日.

札幌市 後援

北海道総合地質学研究センター第3回公開講座「海と陸の本当の違いー砂漠のオマーンで見る海底下40kmの岩石の世界ー」, 2019年2月23日.

北海道総合地質学研究センター第4回公開講座「4万年前, 札幌を埋め尽くした支笏火砕流」, 2019年6月8日.

北海道総合地質学研究センター第5回公開講座「小さな化石（珪藻）から石狩平野の生い立ちを知る－縄文海進の世界－」，その1：2019年7月6日，その2：2019年7月13日．

北海道総合地質学研究センター第6回公開講座「豊平川の洪水を考える」．「その1 洪水の歴史」：2019年10月12日．「その2 最近百年間の洪水痕跡を訪ねる」：2019年10月27日．

北海道総合地質学研究センター第7回公開講座「昭和56年洪水災害とハザードマップの活用」，2019年11月2日．

北海道総合地質学研究センター第8回公開講座「変動する地球：気候変動－地質学的視点から気候変動・地球温暖化を考える」2019年12月7日．

札幌市教育委員会 後援

北海道総合地質学研究センター第3回公開講座「海と陸の本当の違い－砂漠のオマーンで見る海底下40kmの岩石の世界－」，2019年2月23日．

北海道総合地質学研究センター第4回公開講座「4万年前，札幌を埋め尽くした支笏火砕流」，2019年6月8日．

北海道総合地質学研究センター第5回公開講座「小さな化石（珪藻）から石狩平野の生い立ちを知る－縄文海進の世界－」，その1：2019年7月6日，その2：2019年7月13日．

北海道総合地質学研究センター第6回公開講座「豊平川の洪水を考える」．「その1 洪水の歴史」：2019年10月12日．「その2 最近百年間の洪水痕跡を訪ねる」：2019年10月27日．

北海道総合地質学研究センター第7回公開講座「昭和56年洪水災害とハザードマップの活用」，2019年11月2日．

北海道総合地質学研究センター第8回公開講座「変動する地球：気候変動－地質学的視点から気候変動・地球温暖化を考える」2019年12月7日．

北海道高等学校理科研究会 後援

北海道総合地質学研究センター第4回公開講座「4万年前，札幌を埋め尽くした支笏火砕流」，2019年6月8日．

北海道総合地質学研究センター第5回公開講座「小さな化石（珪藻）から石狩平野の生い立ちを知る－縄文海進の世界－」，その1：2019年7月6日，その2：2019年7月13日．

北海道総合地質学研究センター第6回公開講座「豊平川の洪水を考える」．「その1 洪水の歴史」：2019年10月12日．「その2 最近百年間の洪水痕跡を訪ねる」：2019年10月27日．

北海道総合地質学研究センター第7回公開講座「昭和56年洪水災害とハザードマップの活用」，2019年11月2日．

北海道総合地質学研究センター第8回公開講座「変動する地球：気候変動－地質学的視点から気候変動・地球温暖化を考える」2019年12月7日．

2) 助成金などの受入れ

令和元年度札幌市市民まちづくり活動促進助成金（さぽーとほっと基金），168,000 円（2020 年 4 月 17 日に領収）

特定非営利活動法人北海道総合地質学研究センターは以上の諸機関のご協力・ご援助に感謝いたします。

北海道総合地質学研究センター年報編集担当 嵯峨山 積
